

《研究課題名》

強迫症における臨床背景因子と治療反応性についての研究

《研究対象者》

西暦 2020 年 1 月より 2025 年 12 月までに滋賀医科大学医学部附属病院精神科において「強迫症」と診断された方

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の情報を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報の使用について、直接ご説明して同意はいただきず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究への試料・情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記（８）の問い合わせ先へご連絡ください。

（１）研究の概要について

《研究期間》 滋賀医科大学学長許可日～2031 年 3 月 31 日

《研究責任者》 滋賀医科大学 精神医学講座 藤井久彌子

（２）研究の意義、目的について

《意義》

強迫症の予後（治療に反応して改善するかなど）を見据えた、よりよいアプローチが明らかとなれば、見通しを踏まえて、患者さんへの関わり方、心理教育、啓発活動に生かせることにつながるものが考えられます。

《目的》

今回の研究の目的は、強迫症をもつ方々の特徴を調査し、どのような因子が予後に影響するか、よりよい介入方法があるのか、を検討することです。

（３）研究の方法について

《研究の内容》

滋賀医科大学が行う研究です。対象患者さんのカルテから、年齢、性別、発症年齢、未治療期間、教育年、合併する精神疾患、身体疾患、家族歴、重症度、病識の有無、巻き込みの有無、誘因の有無、薬物療法、予後（治療反応性）を調べ、種々の要素と治療反応性との関連を検討します。医療法人仁和会埼玉江南病院から情報の提供を受け、それも解析に加えます。

《利用し、又は提供する試料・情報の項目》

情報（年齢、性別、発症年齢、未治療期間、教育年、合併する精神疾患、身体疾患、家族歴、重症度、病識の有無、巻き込みの有無、誘因の有無、薬物療法、予後〔治療反応性〕）を診療録から調べます。

オプアウト

① 《試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名》

医療法人仁和会 埼玉江南病院 院長 石川 高明

② 《試料・情報の提供を受ける機関の名称》

滋賀医科大学 精神医学講座

③ 《提供する試料・情報の取得の方法》

診療録から取得

④ 《試料・情報の提供方法と提供開始予定日》

電子データとして提供、滋賀医科大学学長・病院長許可日から提供開始

⑤ 《提供する試料・情報を用いる研究に係る研究責任者（多機関共同研究にあつては、研究代表者）の氏名及び当該者が所属する研究機関の名称》

滋賀医科大学精神医学講座 藤井久彌子

⑥ 《試料・情報を利用する者の範囲》

滋賀医科大学精神医学講座 藤井久彌子
医療法人仁和会埼玉江南病院 高橋三郎

《試料・情報の管理について責任を有する者》

国立大学法人 滋賀医科大学 学長 上本 伸二

（４）個人情報等の取扱いについて

本研究を実施するには、あなたの試料・情報から、あなたを特定できる情報（氏名、生年月日、住所等）を除き、代わりに本研究用の ID を付けることで、その情報が誰のものであるか分からない状態にします。ただし、必要な場合に特定の個人を識別できるように、あなたと ID を結び付けることができるような加工をした情報を残します。尚、加工された情報は、施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。

（５）研究成果の公表について

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないように、十分配慮いたします。

オプトアウト

(6) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記(8)の問い合わせ先へご連絡ください。

(7) 利用又は提供の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の情報を本研究に利用(又は他の研究に提供)することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記(8)にご連絡ください。

(8) 本研究に関する問い合わせ先

担当者：滋賀医科大学 精神医学講座 藤井久彌子

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号：077-548-2291

メールアドレス：hqpsy@belle.shiga-med.ac.jp